

ハイライトよねやま 23

(財)ロータリー米山記念奨学会

2002年2月8日発行

1. 「中国人就学生の偽造書類」問題について

中国が「偽造書類の天国」と言われて久しく、その実態は想像以上のものがあるのは事実です。大学卒業証書や成績表などの偽造は、以前から行われ日本国内でも売買されているのは新聞でも報道されています。このような行為は、日本の法律、倫理に照らして許されるべき事ではないことは言うまでもありません。

不正の多くは、就学生の身分（就学ビザ：日本語学校入学者）で日本に入学し出稼ぎに励むといった偽装入国において横行しています。では、大学が受け入れる留学生に関しては偽造書類が完全に排除されているかということ、大学側での調査に限界があるのも事実です。しかし大学もロータリーによる選考も、「優秀な留学生」を採用することが目的であり、書類偽造の犯人探しをするための選考ではありません。

米山奨学生募集は大学推薦制度を施行しました。被推薦者は学内選考によって選び抜かれた人材であり、ニュースで取りざたされている問題は、米山奨学生に重なる性質のものではあり得ません。正直で、優秀な学生はたくさんいます。法治国家の法制度を犯し偽造に対する罪悪感を持たない一部の学生の不正な行為に失望し、ロータリアンが誇りをもって支援する米山奨学生への期待を失わないよう、重ねてお願いいたします。(宮崎)

2. 国立大学再編・統合と米山の大学推薦制度

日本の国立大学は、2001年4月現在で99校あります。昨年6月に文部科学省が「大学の構造改革の方針」を発表して以来、国立大学の統合・再編の動きが顕著になりました。文部科学省発表によると15組31大学が協議中で、群馬大学と埼玉大学など県境を越えた統合も検討されています。

米山奨学生募集は、2001学年度から全国で指定校・大学推薦制度を施行しました。指定校の決定は各ロータリー地区選考委員会に委ねられ、ロータリー地区に所在する大学キャンパスを対象に指定できる制度です。たとえば、群馬大学(2560地区)と埼玉大学(2570地区)が統合した場合は、どちらのロータリー地区に属するのか・・・という質問が予想されますが、回答はきわめてシンプルです。地区に所在する大学キャンパスを対象に指定校を決めるシステムのため、地区所在のキャンパスが他県へ移転しない限り、統合によって各地区に不利益が生ずることはありません。

また、こうした国立大学の再編・統合は、少子化という社会問題が背景にあります。その他に国際社会で評価される日本の大学教育づくりも根底にあります。「魅力ある日本留学」を目指して、公・私立大学も今後の存続をかけて質的向上が必要とされます。(栗原)

(財)ロータリー米山記念奨学会 担当：大庭^{おおば}・三宅^{みやけ}

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-3 abc 会館ビル8階

Tel : 03-3434-8681 Fax : 03-3578-8281

心に残る米山奨学生の卓話を教えてください。→ 米山奨学会事務局・三宅 ☎(03)3434-8681